

## 評価ランクごとの基準

ラ ン ク		評価にあたっての着眼点
S	抜群	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当年度、特に功績が顕著であり、重要必達事項をすべて達成し、かつ、成果の度合いが抜群である。</li> <li>・他の者の模範となり、非の打ちどころのない仕事ぶりであり、いわば無欠点である。</li> <li>・上位の資格等級においても力があり、十二分に発揮しえる。</li> </ul>
A	優秀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当年度、特に充実度が顕著であり、重要必達事項をすべて平均以上に達成し、かつ、成果の度合いが特に優れている。</li> <li>・他の者の模範となり、見習うべき点が多く見受けられる仕事ぶりであり、いわば欠点がほとんどない。</li> <li>・上位の資格等級の遂行が可能である。</li> </ul>
B	良好	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当年度、十分に職務を遂行し、所定の遂行事項を無難に達成している。</li> <li>・仕事ぶり、勤務状況において、特に目立った難点がなく、平均的な状況に達している。</li> </ul>
C	やや劣る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当年度、所定の職務はまあまあこなしているが、本人の不注意によるミスがときたま起きて、上司や同僚の援助が必要であった。</li> <li>・仕事ぶり、勤務状況がやや不安定で、フォローをしないとやや安易に流れるなど、若干の難点がみられる。</li> </ul>
D	劣る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当年度、本人の重大な過失があったとか、不注意によるミスが多すぎるなど、成果が挙げられず、しばしば注意を受けた。</li> <li>・安心して仕事を任せることができない。たえずフォローが必要であり、あるいは進歩・改善が認められない。</li> </ul>